

コリーナ矢板施設管理組合 2024 年度総会 【議事録】

1 開催日時及び場所

- ・日時: 2024 年 5 月 11 日 13 時～13 時 17 分
- ・場所: コリーナ矢板自治公民館

2 総会出席人数: 34 名

3 議事内容

①初めに

司会者(井艸氏)より総会の開始宣言がされた。
総会対象 1449 区画あり、委任状含め開催に必要な有効は 1345 区画
あったので総会成立することを表明。

戸井理事長挨拶

コリーナコミュニティの新体制3年目になった、これまで効率よく住み良い街作り
を試みてきた。軌道に乗ってきたので役員の体制を含め維持していきたい。
今日はコリーナの未来を見通せるような総会にしたい。

②議長選出

司会者より、議長を募集したがおられなかったので
事前に推薦されていた中村氏(6 班)が指名され拍手で承認された。

③議長挨拶

議事を遂行の為、以下の方に役職を依頼した。
書記は岡部さん、川村さん / 議事録の署名は本田さん、アビラさん

4 議事

4-1 第 1 号議案 2023 年事業及び決算報告

(戸井理事長)

- ・コリーナの施設の維持管理の為、全ての事業をコミュニティに業務委託した。
- ・テレビ共聴システムは 2023 年よりトランセンスさんへ保守業務を委託した。
設備の老朽化もあり一層注意をもって保守が必要と感じている。
- ・防犯灯
切れた場合などの維持は去年から市から行政区ですることになった。
その為の業務や費用が増えた。

・環境整備

私有地への働きかけ、公共の場を矢板市と連携をもって整備してきており、予算の限度はあるが順調に進んだ。

・広報の強化

ホームページで公開及び管理組合ニュースの発行を行った。
特にホームページは外部の方がコリーナに住む事を検討する事に貢献している。

・予算計画の説明

金額は別紙で報告

4-2 第2号議案 監査報告

監事 阿久澤さんによる報告

『3月31日に監査を2名で実施した。通帳、帳簿監査結果は正確で、あった事を確認した』。

*事前質問は無かったが

【質問】普通貯金の利子に関して？（Fさん）

⇒ 定額貯金は定額の数値の為、その口座の利子は加えられないので、利子は普通貯金に計上されている。

4-3 第3号議案 コリーナコミュニティ業務委託

前年と同じようにコミュニティに委託する

委託内容

- ① 施設管理組合の業務
- ② 施設管理組合収入全額を支出する

4-4 第4議案 2024年度事業計画及び予算

事業計画の要点

- ・テレビ共聴施設の管理をする
- ・防犯灯、特に水銀灯は設置者が不明であり切れたら修理ができない、かつ電気代が高いので今後は削減に向けて精査をしていく。
- ・環境整備は、引き続き継続する。放置された土地も整備されてきている。
- ・広報の強化は引き続きホームページでしっかり伝える
- ・予算計画で組合費の収入は750万円、特別会計は従来通り維持していく。

*意見(Aさん) :ここは、生活環境を維持する為に問題に気付いた時点で
住民皆で対応し住み易い環境がしっかりと出来ていると感じる。

■議長により、総会の承認を出席者に確認し“第1から4号議案は全て承認された。”

コリーナコミュニティ 2024 年度総会 【議事録】

施設管理組合総会に引き続き当総会を開催（時間 13 時 18 分～14 時 35 分）

議長、書記、署名人は引き続き、施設管理組合総会と同じとする

1から3号議案は関連しているので一緒に報告。

第 1 号議案 2023 年度事業報告

■業務委託

施設管理組合及びコリーナ・玉田共助バス運営会からの委託をしっかりと遂行した。

■事務局の体制

2年経ち、住民はもちろん外部の矢板市に対しても窓口を一本化した事の利点は軌道に乗ってきている。課題は事務局が多忙になりつつあること。

■生活環境の整備

市と協力し且つルールも既に作成しているのでそれに基づいて推進する。

・ゴミステーション

新しい運用をしても不法投棄はあるが減ってきていると感じる。本年度はゴミステーションの老朽化に対する補修に力を入れる。

・一斉清掃 それぞれ出来ていると思う。

■防犯、防災の備え

本年度は防災訓練を新しい形で提案していく。

■広報周知体制の充実

“コリーナだより”を毎月発行した。ラインアプリでも必要に応じて発信した。

■住民親睦会の提供

コリーナジャムフェスを開催した。今年も計画している。

第 2 号議案 2023 年度決算報告

最終版は別紙参照

■収入の部

・30 万円弱ほど予算に比べ増えた要因は

決算額は区長報酬をコミュニティに直接振り込むようにした。

“片岡コミュニティ”が解散したので分担金の残金が各行政区に還元された。

■支出の部

増えた要因

- ・雷によるテレビ共聴施設の修理が増えた
- ・電柱の張替えで費用が発生(テレビのケーブル線の再接続)
- ・防犯灯(LED) 6灯入れ替えた。落雷の影響とみている。
- ・人件費は事務局の業務が増え、ボランティア謝礼が増えた
- ・親睦会の充実

第3号議案 監査報告

施設管理組合と同じ日に監査した。通帳、帳簿監査は正確であった。
(阿久澤、千葉監事)

【質問】

①共架料、電柱張換えの実際の費用に対し予算の精度は出ないのか？

(Aさん)

=>東京電力に問い合わせるも作業の計画は入手できない状況であり、予算と祖語は出る。

②環境活動の中で、剪定時に、花が咲く時期を考慮して欲しい(Wさん)

=>つつじは市が管理なので時期の要望は難しいのが現状。

③紫陽花を伐根し更地になったがその後の更地の管理は？

=>交通安全の為に見通しに危険な場所を伐根した。その後の更地は草を刈る事になっている。

【意見】

汚水処理の装置、当初は自分たちで管理していた、その後市の管理になったのは、先輩の役員が奮闘してくれた結果である。お礼が言いたい。(Aさん)

=> 補足情報として去年から工事は始まって、4~5年先になるが汚水場は廃止して、全ての下水は、安沢の処理場につなぐ決定が市として出ている。

■議長により、総会の承認を出席者に確認し“第1から3号議案は全て承認された。”

第4号議案 共助バス運営会 2023年度活動報告及び2024年度活動計画
第5号議案と重なるので同時に説明

第5号議案 共助バス運営会 2023年度活動報告及び2024年度予算計画

・バス 2023年度活動報告

運転者講習会実施 9名受講

交通会議 更新登録が認定された

運転手会議を実施(安全運転の為の課題の抽出と対策)

11月に累計1万人を達成(約2年)

乗客 21人/日 住民の足となっている

- 運休連絡などはホームページとラインアプリを活用し混乱なく遂行した
- ・2024年度は継続して推進するが、乗客が増えているので車両整備をしっかりとやる必要がある

■2024年度予算計画(共助バス運営会)

- ・市の補助金(230万円)は承認され振り込みは完了している。
- ・整備、安全運転を重点的に予算を充当する。
- ・今年は車検があり予算をオーバーするが市から得る予定。
- ・繰越金は運転手さんへのボーナスとして支出したい。
- ・バスは継続して運営しなければならないので住民協力が必要。
利用しない方も年間パスを買って頂き協力して欲しい。
- ・運転手さんの高齢化に備えて今すぐではないが、新しい方の参加が必要である。今では、コリーナの大事なインフラとなっており、これがあるから新規に移住を考えている方もいるのも事実である。バスは継続して行く必要があるので協力をお願いします。

【質問】

- 決算報告にある雑収入の寄付とは？
=>個人から受けている。

第6号議案 コミュニティ 役員

役員改選の時期ではないが昨年は1名欠員だった。役員活動に支障があるので役員会でも追加を決め、“コリーナだより”で募集した。(任期は1年)

結果 3班 高橋正夫さん に了承頂いた。

- * 議長により、総会の承認を出席者に確認し、承認された。

第7号議案 業務委託(管理組合・共助バス運営会)受託

施設管理組合、バス運営会 をコミュニティで受託する

第8号議案 2024年度 コミュニティ活動計画

大きな変更はない、今までの方針の精度を高めて推進する

第9号議案 2024年度 コミュニティ予算計画

- ・防災、防犯は重要と位置付けている。
 - *昨年は事例もありパトカーでの巡回を増やしたり片岡駐在所の講話も行った。何か不安、不審があったら110番して欲しい。
 - *防災訓練を計画したい。
- ・広報をいっそう充実させていく
- ・住民親睦会の充実を検討する

・それらを推進するための予算を計画した。繰越金を 100 万円ほど使っている
その繰越金が増えたのはコロナ禍での活動停止が大きい。
予算は使い切る考え方で必要な活動で繰越金を使い、それが無くなったらその
時考える

・予算増減

テレビ関係はほぼ前年並み。

防犯灯は寿命の関係で全数を換える事も見積もったが、LED照明器具はすぐに切れるものでないので、壊れたら交換という考えでやる。

人件費はやることが増えてきているので増えているが通信費など経費削減も検討している。

コミュニティ業務も安定して来ているので予算内で活動で出来るようになって
いる。

【質問①】 事務局 2 人で十分か？

=>4 月から 2 人体制。現状は活動できると考えている。

【質問②】多目的グラウンドで野球の整備をしているが計画は？

=>4 月からアローボード(片岡)が、野球教室の為に整備も含めて借りた
いと打診があり役員会で了解し及び”コリーナだより”でお知らせした。

コミュニティと取り決め、覚え書きも取り交わしている。

近隣の方には迷惑をかけないのが原則で活動は土曜日午後 2 時から 4 時まで。
簡易トイレも予定している。もともとグラウンドだったが放置され草も生え
放題だったのが草刈りもするので問題ないと思う。

なお、グラウンドは市の所有だが管理は自治会に任されている。

【質問③】 グランドゴルフの場所(公民館) 草刈りをやって頂いている。

謝礼をコミュニティで出せるか？

=>草刈りにもボランティア謝礼のシステムがあり、基本は公共的、
公平な事に使える。検討はしてみる。

■議長により、総会の承認を出席者に確認し、“ 議案はすべて承認された。”

■その他

毎年出席して頂いている、顧問弁護士の一木弁護士が所用で欠席。

書面で挨拶をもらっている(戸井会長が代読)。

【挨拶の要点】

コロナにおいて2年前から新しい制度による新しい事業が順調に運用されている事に敬意を表します。

本来なら地域公共団体の役割かもしれないが、そこが今、重大な危機を迎えている。市長村は時代で大きく変化している。明治初期 71,314 あったが現在は 1,718 の数。市長村の一つの規模が大きくなり、住民から見ると存在が遠くなった事を意味している。

戦後の日本は産業構造の変化、農林魚業の衰退、東京一極集中と地方切り捨て、少子高齢化、により、ほとんどの市町村は財政難で住民の福祉を十分に果たせない状況にある。

必要な公共のサービスが低下することは生活の質が低下であり、市町村に改善を求めるが難しく、改善されるのを待つのもつらい。そのような背景でコロナコミュニティが誕生したと思う。

住民が創意と工夫で作りあげ、市町村の改善を待つのではなく、住民の手で空白を埋め、事業を開始し順調に進んでいる。これは大いに賞賛するに値すると思う。一層の奮闘を期待させて頂きたい。もしお手伝いできる事があれば微力を尽くします。

■議長解任

総会の議事全て終了し中村議長は出席者の拍手を持って解任された。

以上

議事録署名人

本 田 茂

議事録署名人

E Arilla (ペラアリア)